

夏休み恒例となったジャックの樹の一泊二日のキャンプ。今回は、学生四人と社会人三人の混合グループです。それに加えて、ジャックの樹スタッフ四名。天気にも恵まれていましたが、その天気にも負けず劣らずの元氣なメンバーが集まりました。私たちスタッフは、参加者が決まった時点から賑やかで楽しい旅になるであろうと、準備もワクワクしていました。

さて当日、集合場所に「もう楽しみで仕方がないぜ!」「私、ちょっぴり不安なの」「どんなことするのか」それぞれにいろんな表情と気持ちを持って集まってくれたメンバー。出発する際にどんな気持ちで、帰ってきたときにどんな表情で帰ってくるか、その変化も楽しんでみようよ!というのがジャックの樹のキャンプです。

ということ、いざ出発☆
車二台に分かれてのドライブ。渡辺号では、お喋りやしり取りで盛り上がりながら。永田号では、お喋りに鼻歌。快適なドラ

イブでした。ドライブと言う場面一つをとっても一人一人の興味がどんな方向に向いているかが見られる大きなチャンスでもあります。興味を示す看板やお店の違い、景色の変化と共に変わる表情：普段私たちスタッフはプール内での関わりが中心になるので、こんな場面もまた新鮮なのです。そして、その気持ちを一緒に味わうことで、生徒たちとの信頼関係を深めることができれば、と思っています。



キャンプ場に向かう途中、スーパーに立ち寄り食材の買い出しをするのも、ジャックの樹のキャンプの恒例となっています。

この買い物場面こそ、日頃のプールのやり取りの発揮する場面です。一般の人もいる中で、自分たちの目的を持って過ごす、とても言えば良いでしょうか。それに加えて、キャンプのワクワク感や自分の好きな商品の誘惑などの要素があります。そうなるとう然スムーズと言う言葉だ

けで済ませられる買い物にはなりませんが、せん笑気が付くとお菓子コーナーやジュースの前で葛藤する姿、はしゃぎ過ぎて怒られたり：そうやって少しずつ「この場面での加減」というものを覚えるのですね。もちろん素敵なシーンもたくさんありました。はぐれそうになる仲間をそっと連れて来てくれた人もいました。夕食のメニューを聞いて、それから連想したのでしょね、お願いする前に食材の前に立ち「これは？」と確認してくれた人もいました。狭い通路では他のお客さんへ通路を開けてあげる：間接的にも見知らぬ人とコミュニケーションが取れて、これがこちら相手も世界が広がる瞬間と言っているのではないかなと思いつつ眺めておりました。



買い物を終えて、一気にキャンプ場へ。ビルが減り、家々が減り山間の中を進んで行くと、行き着くのが今回の滞在場所「グリーンパル日向神峡」です。ダム湖畔にあり、都会で感じる熱風とは違う心地良い風の吹く場所です。



荷物を運び入れ一服。「ここで一泊過ごす」ということで湧いてくる気持ちや味わいながらのお茶タイムとなります。

お茶を飲んだらよいよキャンプ本番! ジャックの樹のキャンプの代名詞とも言えるアート活動。今回は昨年よりメンバーに加わった竹若が、この日の為に試行錯誤繰り返しながら準備してきたものをみんなで取り組むことに。題して、「世界に一つだけのオリジナル時計を作ろう」。具体的に言うと文字盤への絵付けです。文字盤の大きさに合わせた画用紙に水彩絵の具で絵付けをします。

みんな、思い思いに筆を執り、その瞬間の気持ちを表現してくれました。失敗や間違いということに捉われないでなく、とにかく自分を表現していき、気持ちの良い作品ができました。

(記・永田 淳哉)



アート後は、夕食作りです。本日、皆で囲う夕食はバーベキュー・焼きおにぎり・スープ

皆で一つのテーブルを囲って、それぞれ、おにぎり作り隊・野菜の下準備隊(切る・皮をむく)と分かれてクッキングスタートです。おにぎり隊は、ご飯を囲って、おにぎりの型にご飯をつめて、野菜隊は、ニンジン・かぼちゃ・玉ねぎと形・硬さが違う食材に時に苦戦しながら

着々と切つて、それぞれ違った工程をしているように一つのテーブルを囲っているながらのクッキングは、仲間の様子を意識しながら、クッキングでした。時には一緒にワイワイとしながら、でも賑やかさだけではなく、他者が真剣に取り組んでいる姿を片目に自分の動きを意識したりと、周りの様子にも気を配りながら、一つのテーブルの中の「協力」の姿が見えていましたよ★



そして食材の下準備後、火をおこし隊と共に外に出ると森林と水辺の真横のバンガローだったので、とても素敵なロケーション♪そんな心地よい雰囲気につられて、自然と一人ひとりと外へ、気づくと火が起ころ前に全員で外にいました(笑) 食事前

に気持ちよい風に当たって、のんびりとしていると、特別誰に何を促されることなく、自然にテーブルに輪になって座り、過ごしていました♪そのままのゆったりとした雰囲気でいたできます♪と夕食会スタートです。ここでバーベキューの焼き方として登場したが、もちろん渡辺下です(笑) 職人ですか??と聞きたくなるような雰囲気食材をじっくりと焼いて、味付けをしていきます(笑)そして焼き上がりをすぐにバクリとー!あら、おいしく!!普段食べているお肉や野菜も、自然の中で仲間と一緒に食べることでさらに一段とおいしさが増していました★網の上でじっくりと焼きあがるのを待ちながら自分の好きな食材を選んで食べ、仲間と一緒にゆったりとした空間を味わいながら、満喫した夕食となりました♪



食事が終わり、自由時間といきたいところですが、もちろん後片付けがあります★自分たちで味わた後は自分たちで片付けます。テーブルを拭いて、お皿も拭いて、時にはふざけて2階へ行こうとするところを「しようよ」と促され(笑)でもそうする事で「皆で来てるんだ」、「一緒にできたあ」という事を一つ一つ味わっていくんですね★それをもって大切なことだなと思います。そして片付け後は自然にみんな二階に上がり、入浴までの間、余暇を自分たちで楽しんでいました。私は若干自分の修学旅行時の夜の雰囲気を感じながら青年達と一緒に夜の時間を楽しみました(笑)

今日顔を合わせた仲間同士ですが、仲間を意識しながら、時には意見をぶつかりながら自然なやり取りが生まれていました。楽しい空間を共有したいといった思いはみんな一緒!!それが上手くなっていくのは、



人と押しついたり引いたりつとやり取りを重ねながら、人との繋がりを大切に、仲間への意識を大切にしていくなことだなあと思います。そんな人との繋がりが、やり取りを大切にしていって、一緒に大切な思い出を作っていきたいなという思いにふけながら、私自身も一日目のキャンプを終え、皆と共に寝床につきました(笑)

キャンプ二日目の朝、6時に起床です。まだ眠いかなと思いつつ「おはよう」と声をかけると渋ることなくみんな爽やかな目覚め★洗面を済ませた後は、全員で散歩に出発♪ちよと夜に雨が降っていて、水辺から霧が立ちこめ、幻想的な雰囲気。そんな雰囲気の中、昨日の疲れは何のそのという感じで駆け出している姿や、ワイワイとにぎやかなやり取りも(笑)皆で朝一番でしか味わえない気持ち良い時間を楽しみました。



散歩後は、さっそくスタンプ作りの朝食タイム♪朝食メニューは、魚の形をしたホットサンド名付けて「ギョギョサンド」とお味噌汁。朝食を見て自然に青年の口から「ギョギョー!」という声が漏れ、思わず大笑してしまった一幕も(笑)そんな和やか雰囲気、みんなできっかりと朝食を満喫した後は、皆で後片付け。食べたものは自分で下膳して、周辺の掃除★昨日の経験が生かされた協力の仕方、動きが出来ていて、さすがでした♪自分の荷物の片づけを終えた後は、名残惜しさを残しつつ、キャンプ場を出発。

帰りの車中はまた行きの中と違った雰囲気それぞれ時間を楽しみつつ、仲間とやり取りをして楽しみつつと、二日間のキャンプでしたが、「仲間と一緒に過ごす」といった事がより自然に楽しめた空間でしたね。そしてそれぞれ「頑張った」「楽しかった」「お別れがさびしいなあ」

といった思い出を表情に浮かべながら帰路でした。

二日間、楽しかったね♪また一緒に素敵な時間を過ごしましょう★

(記: 鈴木 和加菜)



保護者の方からのお便り♪

親子共々楽しみにしていたジャックの樹キャンプが無事終了しました。本人は疲れも見せず、上機嫌で時折「バーベキューの時に」と楽しかった思い出を断片的ですが語ってくれます。

親は「あれが出来ない。これが未熟」などと我が子のマイナス面ばかり捉えがちですが、ジャックの樹の先生方は本人のちよとびり成長している面を上手に見つけ、活動の中で成功体験に導いて下さっていることが報告を聞いて強く感じられました。コミュニケーションの取り方が上手になっていると指摘を受けるまで全く気付いていませんでした。これからも大好きなスイミング、年に1回のお楽しみキャンプに参加し、成長して欲しいと願っています。今後ともよろしく願います。

大神 義徳 母



ジャックの樹のスタンプから

「キャンプを通じて」

このキャンプを通じて日頃プールでは感じ取れない子供たちの一面を見る事が出来、大変感動しました。

いろんな活動をする中で、先生や友達と協力して自分自身の成長に繋げようと何事も精いっぱいに取り組む姿は頼もしく感じる事が出来ました。今後、子供たちが日々「自分らしく」成長していく中で、素晴らしい思い出の一ページになった事と思います。

これからもいろいろな活動を通じて子供たちの成長を応援できればと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

竹若 勇一

のどかな自然
に囲まれて♪



「人が人を支える」

今回のキャンプいかかでしたか？

今年は 本当に猛暑で どこにいても暑いと感じ思わず「あゝ暑い！」と言ってしまうました。

意識的にも無意識的にも思わず口にしてしまうってこと・・・ありませんか？

思い返せば、それにより 行動のバランスをとっているんですね。

でも その気持ちを表出してしまふことで反感をかってしまふーいすれにせよ その気持ちは「誰かにわかってほしい」という心の要求なのです。

「我慢をする」でもやっぱりわかってほしいから表にだすーこの心の要求はとても大切なことでもありまた とても難しいことでもあります。もしも その気持ちを理解してくれない人がいたら・・・どうしよう。

段々人から周囲から認められないと実感するようになり、おまけに自分自身さえも愛することが出来なくなってしまうのではないのでしょうか。今この現代社会では メールなどのオンライン化が進み過ぎてしまい「顔と顔を向き合って」「目と目を見

つめ合って」という「コミュニケーション」が少なくなり ますます 表情や身体全体から感じ取ることができなくなっていると思います。

そんな中 今回のキャンプで 私は改めて「人と人」の大切さを「支え合う」ということの大切さを実感しました。人の気持ちを丸ごと受け入れ その中からしっかりとした「心のやりとり」を行なうーそう！人が人を支えているのです。

来年も このキャンプが「心の要求」を満たせる機会になるように ジャックの樹一同 励んでいきたいと思えます。
「みなさん！！ありがとうございまして！！」

ジャックの樹・主宰・渡辺千秋

「ジャックの樹」ってどんなところ？

障がいがあっても地域の中で自分らしく生きていきたい。そんな普通の願いを叶えるためには、小さい頃から自立するための技術や精神、体力を身に付けることが必要です。その療育活動をサポートしていくのが、地域密着型余暇支援活動組織「ジャックの樹」です。

<http://jacknoki.com/>